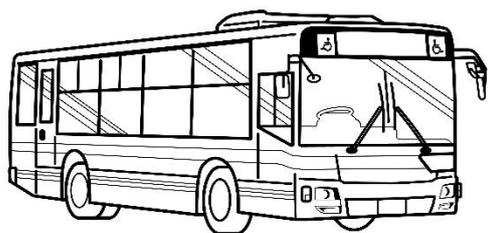


「バスの運転手さん」

校長 山下 眞由美



◆2学期が始まって1ヶ月が経ちました。暑い日が続いていましたが、幾分か和らいできたように感じます。朝晩の涼しさは例年通りになってきました。子どもたちもようやく暑さを気にせず、活動ができるようになりました。

◆そんな中、先日、最寄り駅からバスに乗って帰ったときのエピソードを紹介します。友だちとご飯を食べた帰りのできごとです。いつものように、最寄り駅から自宅のある方

面に向かってバスに乗りました。バス停に着いて私が先に降車し、学生らしき方が2番目に降りました。そのバス停で降車したら次のバス停に向かうはずですが、運転手さんが「お客様、お客様」ととても丁寧な言葉でマイク越しに呼び止めました。「お支払いが10円多く支払われていますのでご返却します。」とおっしゃいました。私は電子マネーで支払ったのできっと次に降りた方だと思いました。でも、その若者はイヤホンをしていたのか運転手さんの言葉が聞こえなかったようです。もう一度呼びかけられてその方は気付きました。「いつもご乗車ありがとうございます。多くお支払いをされましたのでご返却します。」と運転手さんはそのようにおっしゃってお金を返却されました。

◆たとえ10円であってもお客様の不利益になってはならないという気持ちもプロだと思いましたが、それよりもお客に対しての言葉がけの丁寧さに敬服しました。「言葉」というのは本当に不思議です。優しく温かな言葉を耳にすると聞いている側も温かな気持ちになり、発する言葉も自然と温かくなります。逆にとげのある言葉を発すると相手側もとげのある言葉で返してしまいます。本当に不思議ですね。

◆私たちは、コミュニケーションを大事にしている仕事をしています。だからこそ、私たちは常に温かな言葉を発する努力をしなければならないと思います。温かな言葉で子どもたちに接することで子どもたちも温かい言葉を学んでいくと思います。今後も丁寧な言葉がけで子どもたちと一緒に毎日を過ごしていきたいと思います。10月もよろしくお願いいたします。



学習参観と懇談会へのご参加ありがとうございました。

9月18日(木)・9月25日(木)に行われた課題別学習(小学部)・基礎学習・社会生活(中学部)の参観・懇談会へのご参加ありがとうございました。

「勉学の秋」の言葉どおり子どもたちも落ち着いて、学習に取り組むことができました。



学校間交流について

百舌鳥支援学校では、お住いの校区の学校と交流を行う居住地校交流はもちろんのこと、各学年や学部ごとに近隣の学校とも交流を行っています。

中学部の交流は7月に陵南中学校で行いました。10月は、高学年部が百舌鳥小学校と12月には低学年部が西百舌鳥小学校と交流を行います。

今年度の本校の取り組みを紹介させていただきます。

学部	学年	日にち	内容
中学部	1・2・3	7月9日	陵南中学校の1年生と一緒にゲームを楽しみました。
小学部	4・5・6	10月24日	百舌鳥小学校の4年生とお互いの自己紹介をします。
		10月28日	百舌鳥小学校の4年生とお互い出し物を発表します。また、その後はゲームやバルーンを通して交流を行います。
小学部	1・3①	12月22日	西百舌鳥小学校の3年生と一緒にダンスやバルーンをして楽しめます。
小学部	2・3②	12月23日	

※学校間交流や居住地校交流は、地域の学校の子どもたちと、ともに学び、社会性を養うことのできる大切な機会になります。子どもたちにとって充実した教育活動になるように今後も取り組んでいきます。

「tetoru」の確認をお願いします

tetoruにて学校より連絡やお手紙を配信しています。

今後、台風接近や天候など緊急の連絡を学校より配信することがあるかもしれません。

tetoruで連絡を受信されましたら、確認をよろしくをお願いします。

また、ホームページにも「非常変災時の登下校について」を掲載しておりますのでご参考ください。

○ 百舌鳥支援学校のホームページでは、学校の様子を随時更新してお伝えしています。ぜひご覧になってください。 <http://www.sakai.ed.jp/mozu-shien>
※ QRコードからも閲覧できます。⇒

